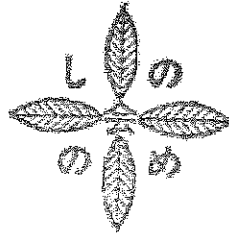


平成 27年度 事業報告書



社会福祉法人 しのめ会

平成27年度 事業報告
社会福祉法人 しののめ会

【法人の概要】

1. 基本的事業

(1) 第二種社会福祉事業

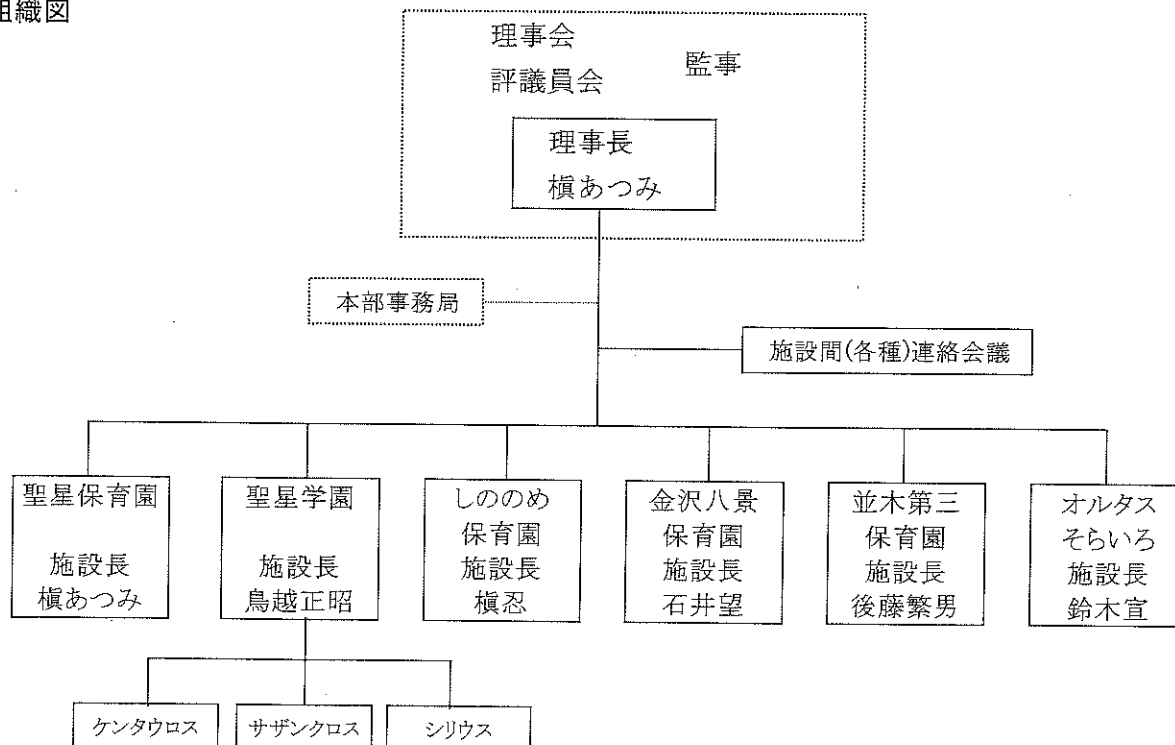
- ・ 保育所の経営（聖星保育園、横浜市金沢八景保育園、しののめ保育園、並木第三保育園、オルタスそらいろ）
- ・ 障害福祉サービス事業の経営（聖星学園、グループホームケンタウロス、グループホームサザンクロス、グループホームシリウス）

2. 職員構成と組織図

職員構成（3月1日現在）

	聖星保育園	聖星学園	金沢八景 保育園	しののめ 保育園	並木第三 保育園	オルタス そらいろ	ケンタウロス	サザンクロス	シリウス	合計	前年度
正規	35	16	22	22	25	20	4	2	4	150	145
常勤臨時	6	0	0	1	0	0	0	0	0	7	5
パート	8	11	6	7	10	4	8	9	7	70	71
合計	49	27	28	30	35	24	12	11	11	227	221
前年度	48	26	28	27	34	28	12	10	8	221	

組織図



【施設整備等】

1. 聖星保育園にて床改修工事 1,500,000円（全額施設負担）
2. 聖星保育園にて空調設備工事 1,475,280円（全額施設負担）
3. 聖星保育園にて空調設備更新工事 1,134,000円（全額施設負担）
4. 聖星保育園にて園庭遊具修繕工事 1,765,800円（全額施設負担）

5. 聖星学園にて空調設備修繕工事 1,701,000 円 (全額施設負担)

【法人組織の活動】

1. 理事会

開 催 日 場 会 場	議 題
平成27年 5月25日 聖星学園	審議事項 1. 平成26年度事業報告書(案)について 2. 平成26年度決算書(案)について 3. 平成26年度監事監査報告について 4. 平成27年度第1次補正予算書(案)について 5. その他
平成28年 2月29日 聖星学園	審議事項 1. 平成27年度第2次補正予算書(案)について 2. 平成27年度積立金の計上について 3. 平成28年度事業計画書(案)について 4. 平成28年度当初予算書(案)について 5. 就業規則の一部変更(案)について 6. 特定個人情報取扱規程(案)の策定について 7. 給与規程の一部変更(案)について 8. 経理規程の一部変更(案)について 9. 理事、監事、評議員の任期、改選等について 10. その他

2. 評議員会

開 催 日 場 会 場	議 題
平成27年 5月25日 聖星学園	審議事項 1. 平成26年度事業報告書(案)について 2. 平成26年度決算書(案)について 3. 平成26年度監事監査報告について 4. 平成27年度第1次補正予算書(案)について 5. その他
平成28年 2月29日 聖星学園	審議事項 1. 平成27年度第2次補正予算書(案)について 2. 平成27年度積立金の計上について 3. 平成28年度事業計画書(案)について 4. 平成28年度当初予算書(案)について 5. 就業規則の一部変更(案)について 6. 特定個人情報取扱規程(案)の策定について 7. 給与規程の一部変更(案)について 8. 経理規程の一部変更(案)について 9. 理事、監事、評議員の任期、改選等について 10. その他

3. 行事等

主な行事として以下を聖星保育園、聖星学園、しののめ保育園、金沢八景保育園、並木第三保育園で行いました。

- ・しののめ祭り(6月6日)
- ・バザー(11月8日)
- ・運動会(10月17日)
- ・歓送迎会(互助会主催、28年4月2日)

4. 研修

① 法人研修として聖星保育園、聖星学園、しののめ保育園、金沢八景保育園、並木第三保育園合同で次のことを行いました。

- ◇ 平成27年9月15日
 - ・感染症について

5. 福利厚生

職員の福利厚生として引き続き、横浜市勤労者福祉共済(ハマふれんど)に加入しています。

6. その他

必要に応じて各施設職員が集まり次の会議を行っています。

- ・施設長・主任会議
- ・保健師・看護師会議
- ・栄養士会議

平成27年度 事業報告

施設名 聖星保育園

【施設の概要】

1. 事業の概要

種別 保育所（定員150名）

開園時間 平日 7:00～19:30 土曜日 7:00～17:00

特別事業 ・産休明け保育・延長保育・障害児保育・一時保育・子育て支援事業

2. 利用児童数

定員		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計			
		45		105				150			
月	種別	各月齢年齢別児童数等								障害児数 (内数)	一時保育 (外数)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小計	合計		
4月	市内	10	20	29	23	31	33	146	164	5	一日平均数 1.0
	市外	1	2	5	5	3	2	18			
5月	市内	12	22	29	23	31	33	150	170	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
6月	市内	13	22	30	22	31	33	151	171	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
7月	市内	13	23	30	22	31	33	152	172	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
8月	市内	13	23	30	22	31	33	152	172	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
9月	市内	15	25	30	23	31	33	157	177	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
10月	市内	16	26	30	23	31	33	159	179	5	1.2
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
11月	市内	16	26	30	23	31	33	159	179	5	0.7
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
12月	市内	17	27	30	23	31	33	161	181	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
1月	市内	17	27	30	23	31	33	161	181	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
2月	市内	17	27	30	23	31	33	161	181	5	1.1
	市外	1	4	5	5	3	2	20			
3月	市内	18	27	30	24	31	33	163	181	5	1.2
	市外	0	4	5	4	3	2	18			
小計	市内	177	295	358	274	372	396	1872	2108		
	市外	11	46	60	59	36	24	236			
合計		188	341	418	333	408	420	2,060		60	16.9
平均		15.6	28.4	34.8	27.7	34	35	175.5		5	1.4
前年度		14.5	30.9	25	32.6	35.7	31.5	171.6		7	1

3. 職員構成 (3月1日現在)

職 種		施設長	主任保育士	保育士	保健師	栄養士	調理員	事務員	合計
人 員	正規	1	1	25	1	6		1	35
	常勤臨時			6					6
	パート			6			2		8
合 計		1	1	37	1	6	2	1	49

【一年の歩み】

定数150名に対し定員枠外利用を含めると月平均176名、障害児受け入れは5名、一時保育の利用者は1日平均1名でした。

1. 行事・地域交流等

年間計画に基づき、内科・歯科検診、体操教室、年長児の宿泊保育、縦割り保育、季節の遠足等を行い心身の健全育成を努めると共に、金沢八景保育園・学園・しのめ保育園・並木第三保育園と協力して、しのめ祭り・運動会・秋の収穫の感謝祭礼拝に伴い鍋パーティーやバザーを開催し、保護者や地域との交流を深めることができました。

2. キリスト教保育

キリスト教保育を柱として、基本理念、基本方針、保育目標、保育方針に基づき保育を実施いたしました。また、お誕生会には月の聖句からのチャプレンによるメッセージも聞くことができました。

3. 統合保育

障害のある児童にあたっては、一人ひとりの障害の種類、程度に応じた保育が出来るよう配慮し職員間の連携、家庭や専門機関との連携を密に行い統合保育の中で児童が共に健全な発達が得られるように努めました。

4. 地域社会との共生

園に隣接する公園の掃除をしたり、近隣の保育園とびわパーティーを行ったりして、近隣の地域・施設と積極的に交流を図り、幅広い視野の人間関係を育みました。

5. 子育て支援等

幅広い保護者のニーズに対応し、長時間保育、時間延長サービスを実施しました。また地域の子育て支援として、町内の掲示板に「みちくさ」と題し園行事のお誘いの案内掲示を行い、親子が交流できる場として園庭開放やリトミックの参加、季節の制作づくりのお誘いや園においての食事のお誘いを2回程行いました。リトミックは、地域に定着しており、毎回地域の親子参加がありました。

6. 食育等

児童の心身の発達・健康増進のために食育の推進に努め、6月と11月には保育所4ヵ所が同じ献立表を使用し、食育をテーマに法人の栄養士会議を開催しました。野菜の栽培に力を入れ、収穫したものをクッキングしたり魚屋さんに来てもらい子どもの前で魚をさばいたり、サンマの姿焼きを行ったりし、生命尊重の心を育み給食への関心を強めました。栄養士が決まった曜日に各保育室で三色分類を伝えバランスの良い食べ方を知らせました。また、子ども達と一緒に食べる機会を作り喫食状況の把握に努めました。

7. 給食

アレルギー疾患をもち代替食を必要とする子どもに対して家庭との連携を密にし、医師の診断を基に栄養士が対応し、メニューに大きな差がないよう栄養面、見た目にも配慮しました。また、宗教食における除去も行いました。

8. 研修

各職員に適切な研修の機会を確保し、全職員（非常勤・短時間勤務保育士も含め）の資質の向上に努め、園外研修（派遣研修）及び園内研修の推進に努めました。個々の職員が資質の向上に向け目標を定めて達成度を自己評価し、次の目標に反映させました。

ピラミッド研修を行い、同等の年齢・立場・経験等で職員が4つのグループに分かれてコミュニケーションを図りました。職員同士が感じている課題や改善点を共有・共感し、職員自らがそれらの課題解決をしていく場を設け、園全体で職員の交流を深める場を設けました。

9. 実習生等

関係校と連携しながら、保育学生、看護学生の受け入れを行うと共に地域の小中高生のために、職業体験や福祉体験の場を提供し、次世代育成支援を行いました。受け入れるにあたり目的が異なるため、全職員が受け入れの意義や方針を理解しているか、その都度確認し、実施してきました。看護学生19名、保育学生28名、養護学生3名、中学生7名、高校生11名の受け入れでした。

10. 幼保小交流事業

園生活から小学校生活へ戸惑いや不安なく進められるよう、積極的に職員間との連携をとり、金沢小学校・文庫小学校へと出向き小学生との交流を行い、児童がスムーズな流れの中で就学を迎えられる取り組みを行いました。また、文庫小の1年生の担任の先生のお子さんが聖星保育園を卒園されている事もあり、3回の交流がありました。

11. 安全衛生

児童の年齢発達に応じた事故防止及び安全指導に努め、適切な応急処置の研修を行い、金沢消防署及び警察署の指導の下、防犯・安全指導教室・避難訓練を実施しました。安全委員会が定期的に集まり、安全管理に際し職員の共通理解、認識が高められるようその推進に努めました。

児童の保健衛生に留意し、保護者や委託医との連携のもと感染症や慢性疾患等に対応し、環境を整え、乳児保育にあたっては特に配慮を行いました。また、前・後期内科検診、歯科検診、ブラッシング指導を実施し、健康管理及び健康の保持増進を図りました。

12. 防災

避難訓練計画表を作成し、計画的に訓練を行いました。

13. 地球温暖化

地球温暖化防止のため節電・節水・ごみの削減やリサイクルに取り組み、「イーオとミーオ・レンジャーの3R夢出前教室」を開催し資源化推進担当から感謝状をいただきました。

14. 苦情解決

利用者からの苦情に対し、適切な対応ができるように窓口の設置をしております。また、適切な養育並びに児童虐待の早期発見に努めておりますが、特に問題はありませんでした。

15. その他

①昨年度より継続家庭支援において母親の精神的不安をどのようにサポートするかを機関同士連携してきていますが、今年度は特に大きな問題は生ずることなく安定していました。

②ネグレクトの家庭については、頭じらみや異臭の追いかっこをして対処していますが、姉弟は遅い時間の登園ですが休みなく登園してきているので、見守りながら保健師や担任同士の連携を密にしていきました。

③両親とも「うつ病」で児は自閉症の家庭については、送迎の支援を行い、本児についても出来る事が多くなり、職員も保育のやりがいを感じる事ができました。

平成27年度 事業報告

施設名 し の の め 保 育 園

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 保育所（定員90名）

開園時間 平日 7:00～19:30 土曜日 7:00～16:30

特別事業 ・産休明け保育・延長保育・障害児保育・一時保育・子育て支援事業

2. 利用児童数

定 員		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合 計			
		18		72				90			
月	種別	各月年齢別児童数等						小計	合計	障害児数 (内数)	一時保育 (外数)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
4月	市内	6	14	17	15	17	19	88	93	(2)	1.6
	市外		1	3	1			5			
5月	市内	7	14	17	15	17	19	89	94	(2)	1.2
	市外		1	3	1			5			
6月	市内	7	14	17	15	17	18	88	93	(2)	2.5
	市外		1	3	1			5			
7月	市内	7	14	16	16	17	18	88	93	(2)	2.5
	市外		1	3	1			5			
8月	市内	8	14	16	16	17	18	89	94	(2)	2
	市外		1	3	1			5			
9月	市内	9	14	16	16	17	18	90	95	(2)	2.7
	市外		1	3	1			5			
10月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	2.2
	市外		1	3	1			5			
11月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	2.2
	市外		1	3	1			5			
12月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	2.5
	市外		1	3	1			5			
1月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	3.1
	市外		1	3	1			5			
2月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	3.2
	市外		1	3	1			5			
3月	市内	10	14	16	16	17	18	91	96	(2)	3.5
	市外		1	3	1			5			
小計	市内	104	168	195	189	204	218	1078	1138	/	/
	市外	0	12	36	12	0	0	60			
合計		104	180	231	201	204	218	1138		(24)	29.2
平均		8.7	15	19.3	16.8	17	18.2	95		(2)	2.4

3. 職員構成 (3月1日現在)

職 種		施設長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務員	合 計
人 員	正規	1	1	14	1	4		1	22
	常勤臨時						1		1
	パート			6				1	7
合 計		1	1	20	1	4	1	2	30

【一年の歩み】

- ・定数90名に対し月平均95名でした。障害児受け入れは2名でした。
- ・年度当初に全職員で事業計画を読み合わせ、それに基づき園テーマ「いただきます」を掲げて一年間保育を行いました。

1. 行事・地域交流等

- ・法人理念、保育目標を基に、年間保育計画を作製し、一年を通して児童の心身の健全育成に努めました。
- ・日々の保育の中で、就学に向け法人内外で年長交流を行いました。
- ・地域の子育てやそれに関わる家庭のために園全体で取り組み、保育行事への積極的な参加を呼びかけました。
- ・法人内他施設の協力を得ながら法人の行事（しののめ祭り・運動会・バザー）にも参加しました。
- ・園行事では、ほっとなつっしののめ、Happyクリスマス、寒さを吹き飛ばせでは地域の方、他保育園もお誘いして楽しみながら、園を知っていただく機会となりました。
- ・個人面談を（希望者のみ）実施し、保護者と子育てや保育への理解を深める機会としました。
- ・年間を通してマニュアルの整備を行い、全職員で理解と共有をしながら保育の標準化に努めました。

2. 子育て支援等

- ・地域のニーズに応え、一時保育事業を行いました。
一時保育利用者は年間利用数657名でした。
- ・一年を通し、毎日園庭開放（平日11：30まで）を行いました。
- ・地域支援スペース（こかげルーム）の開放を（月・水・金12時まで）いたしました。
- ・地域の子育て世代を対象に、子育て支援、乳児ブラッシング（歯科衛生士による）や、絵の具遊びを行い、保育園を身近に感じられる機会を設けました。

3. 食育等

- ・「楽しく食べよう」をモットーに（遊ぶ→お腹が減る→ご飯が食べたくなる）人間形成の基礎となる食事プランを園全体で取り組みました。また、全園児が実際の食事の食材をクッキングする事を日常的に行うことで、子どもたちの食事への関心が身近になることができました。
- ・季節を身近に感じられるよう旬の野菜を玄関前に飾り、嗅ぐ、触るなどをした後、食事でいただきました。季節の野菜を園芸スペースで育て、とれたての味を楽しみました。
- ・みのり組では自分たちで食べるご飯を磨ぎ、炊飯器で炊き、とぎ汁などは畑の肥料として再利用しました。
- ・めばえ・つぼみ・みのり組においては成長に合わせて、食べる量を自分で伝えて食し、子どもたちが配膳の手伝いなども行い食事を身近に感じられるようにしました。
- ・各献立表により、完全給食を行いました。情報提供として人気メニューなどはレシピを作成して自由にとれるようにしました。また意見箱を設置し保護者の意見、要望を聞きました。
- ・アレルギー連絡表を再度作成し、アレルギー除去食を必要とした児童に対しては医師と保護者、園の栄養士との話し合いの場を設けそれに基づく指示により対応しました。

4. 実習生・職業体験等の受け入れ

保育学生の実習生5名、看護学生5名、中高校生6名の受け入れを行いました。

5. 研修

- ・園内研修・・・保育理念、保育方針に基づいた保育となるよう、保育の考え方を共通理解することに園全体で取り組みました。
- ・園外研修・・・自発的に研修に参加できるよう各職員でプログラムを作り、研修での学びを職員間で共有しました。
- ・法人内研修・・・職員の資質向上、法人内の他施設を学ぶを目標に、聖星学園、金沢八景保育園に派遣研修を行いました。

6. 幼保小交流事業

金沢区「幼・保・小」の連携交流事業研修等に参加し、「園生活から小学校生活へのスムーズな接続」を考え、子ども達の就学先小学校、釜利谷東小学校、八景小学校、金沢小学校、文庫小学校へ行き授業風景、小学生との交流を持ちました。

7. 安全管理

- ・毎月の事故統計を行い表とグラフにし、子どもの怪我・事故状況の周知を行い破損箇所の修理改善に努め、安全・安心して過ごせる園作りに園全体で取り組みました。

8. 防災

- ・様々な災害を想定した月1回の避難訓練の実施を行いました。
- ・避難訓練後には、職員会議で振り返り避難時の連携を深めました。

平成27年度 事業報告

施設名 横浜市金沢八景保育園

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 保育所（定員60名）

開園時間 平日 7:00～21:00 土曜日 7:00～16:30

- 特別事業
- ・産休明け保育
 - ・延長保育
 - ・障害児保育
 - ・子育て支援事業
 - ・一時保育事業

2. 利用児童数

定員		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計				
		20		40				60				
月	種別	各月年齢別児童数等							小計	合計	障害児数 (内数)	一時保育 (外数)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳					
4月	市内	6	12	12	13	12	10	65	67	(2)	3	
	市外		1	1				2				
5月	市内	6	12	12	13	12	10	65	67	(2)	3	
	市外		1	1				2				
6月	市内	6	12	12	12	12	10	64	66	(2)	7	
	市外		1	1				2				
7月	市内	6	12	12	11	12	10	63	65	(2)	3	
	市外		1	1				2				
8月	市内	7	12	12	11	12	10	64	66	(2)	5	
	市外		1	1				2				
9月	市内	8	12	12	11	12	10	65	67	(2)	2	
	市外		1	1				2				
10月	市内	10	12	12	11	12	10	67	69	(2)	3	
	市外		1	1				2				
11月	市内	11	11	12	11	12	10	67	70	(2)	3	
	市外		2	1				3				
12月	市内	11	11	12	11	12	10	67	70	(2)	3	
	市外		2	1				3				
1月	市内	11	11	12	11	12	10	67	70	(2)	4	
	市外		2	1				3				
2月	市内	11	11	12	11	12	10	67	70	(2)	7	
	市外		2	1				3				
3月	市内	11	11	12	11	12	10	67	70	(2)	8	
	市外		2	1				3				
小計	市内	104	139	144	137	144	120	788	817	/	/	
	市外	0	17	12	0	0	0	29				
合計		104	156	156	137	144	120	817		(24)	51	
平均		8.7	13	13	11.4	12	10	68.1		(2)	5.1	

3. 職員構成

職員構成 (3月1日現在)

職 種		施設長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務員	合 計
人 員	正規	1	1	15	1	3	0	1	22
	常勤臨時								0
	パート			6					6
合 計		1	1	21	1	3	0	1	28

【一年の歩み】

定数60名に対し月平均68名でした。障害児受け入れは2名でした。

一時保育利用者は月平均5名、障害児0名(延べ利用人数)でした。

1. 行事・地域交流等

- ・法人理念、保育目標を基に、年間保育計画を作製し、一年を通して児童の心身の健全育成に努めました。
- ・地域の子育てやそれに関わる家庭のために園全体で取り組み、HPを活用しながら保育行事への積極的な参加を呼びかけました。
- ・法人内他施設の協力を得ながら法人の行事(しののめ祭り・運動会・バザー)にも参加しました。
- ・地域子育て支援(毎月実施)や乳児ブラッシング指導(歯科衛生士による)では地域の方もお誘いして楽しみながら、園を知っていただく機会としました。
- ・9月に個人面談を(希望保護者)実施し、保護者と子どもの日々の様子や相談、就学に向けての期待を共有する機会としました。
- ・法人理念・方針・目標の具現を目指した八景保育園の保育を職員全員で考えて(人的・物的・空間的)取り組みました。
- ・職員テーマ「チャレンジ」を基に、HPを活用して、園全体のお知らせ、各クラスの日々の活動等を情報発信して保護者に安心してもらえるよう努力いたしました。
- ・築山を設置して、乳児から幼児までが発達を促しながら遊び込める場所を確保しました。

2. 子育て支援等

- ・地域のニーズに応え、一時保育事業を行いました。
- ・一年を通し、毎日園庭開放を行いました。
- ・「赤ちゃんの駅」を実施して、近隣子育て世帯のサポートに努めました。
- ・地域の子育て世代を対象に、毎月各クラスの日々の活動や季節感のある教材を用いて子育て支援を行い、保育園を身近に感じられる機会を設けました。
- ・園独自行事「8Kフェスタ」を行い、在園家庭や卒園児、地域の子育て世帯をお招きし、夏祭りの雰囲気を楽しみひと時といたしました。

3. 食育等

- ・「食べる事が好きになる」をモットーに(遊ぶ→お腹が減る→ご飯が食べたい)人間形成の基礎となる食事プランを園全体で取り組みました。また、全園児が実際の食事の食材を調理して子どもたちの食事への関心が身近になることができました。
- ・季節を身近に感じられるよう旬の野菜を玄関前に飾り、嗅ぐ、触るなどをした後、食事でした

だきました。季節の野菜を園芸スペースで育て、とれたての味を楽しみました。

各献立表により、完全給食を行いました。情報提供として人気メニューなどはレシピを作成して自由にとれるようにしました。また意見箱を設置し保護者の意見、要望を聞きました。

- ・アレルギー連絡表を再度作成し、アレルギー除去食を必要とした児童に対しては医師と保護者、園の栄養士との話し合いの場を設けそれに基づく指示により対応しました。
- ・保護者や他園からいただいた花などを玄関前に飾りました。保育室は季節の花を飾り常に季節を感じられるよう努めました。

5. 実習生等の受け入れ

保育学生の実習生6名、看護学生4名、高校生職業体験9名、インターシップ2名、ボランティア36名の受け入れを行いました。

6. 研修

- ・園内研修・・・保育理念・保育方針・目標に基づいた保育内容の標準化を目指し、OJT計画をリーダーが立案し、年4回の職場内研修を基に保育の考え方を園全体で共通認識となるよう取り組みました。
- ・園外研修・・・自発的に研修に参加できるよう各職員が連携し研修参加がしやすい勤務体制をとり、研修での学びを職員間で共有しました。
- ・法人研修・・・法人内施設の職員と理念共有に向け、学びを共有しました。

7. 幼保小交流事業

金沢区「幼・保・小」の連携交流事業研修会に参加し、「園生活から小学校生活へのスムーズな接続」をテーマに各機関と子どもの育ちの連続性について学び合いました。

8. 安全管理

- ・毎月の事故統計を行い表とグラフにし、子どもの怪我・事故状況の周知を行い破損箇所の修理改善に努め、安全・安心して過ごせる園作りに園全体で取り組みました。

9. 防災

- ・様々な災害を想定した月1回の避難訓練の実施を行いました。また、3階施設と合同の避難訓練も年2回実施しました。
- ・東日本大震災を教訓に災害時に必要な備品購入とその使用方法等を避難訓練時に再確認し備えとしました。

10. 苦情解決ほか

- ・一年を通して保護者の方々とコミュニケーションを重ねて信頼関係を築くように心がけました。
- ・各家庭におけるケースに対しては、南部児童相談所の指示、協力により個々にサポートができるよう努め、相談所と密に連携をとりました。

平成27年度 事業報告

施設名 並木第三保育園

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 保育所（定員102名）

開園時間 平日 7:00～20:00 土曜日 7:00～18:30

特別事業 ・産休明け保育・延長保育・障害児保育・一時保育・子育て支援事業

2. 利用児童数

定員		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計				
		9	11	13	20	49		102				
月	種別	各月年齢別児童数等							小計	合計	障害児数 (内数)	一時保育 (外数)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計				
4月	市内	6	15	19	20	20	25	105	105	(3)	0.1	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
5月	市内	9	15	19	21	21	25	110	110	(3)	0.4	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
6月	市内	9	15	20	21	21	25	111	111	(3)	0.6	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
7月	市内	10	15	20	21	21	25	112	112	(3)	0.4	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
8月	市内	11	15	20	23	21	26	116	116	(3)	0.5	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
9月	市内	11	15	20	23	21	26	116	116	(3)	0.8	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
10月	市内	12	15	20	22	23	27	119	119	(3)	1.4	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
11月	市内	12	15	20	21	23	27	118	118	(3)	1.4	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
12月	市内	12	15	20	21	22	26	116	116	(3)	0.4	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
1月	市内	12	15	20	21	23	26	117	117	(3)	0.8	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
2月	市内	12	15	20	21	23	26	117	117	(3)	1.3	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
3月	市内	12	15	20	21	23	26	117	117	(3)	1.3	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
小計	市内	128	180	238	256	262	310	1374	1374	/	/	
	市外	0	0	0	0	0	0	0				
合計		128	180	238	256	262	310	1374		(36)	9.4	
平均		10.7	15	19.8	21.3	21.8	25.8	114.4		(3)	0.8	

3. 職員構成（3月1日現在）

職 種	施設長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務員	合 計	
人 員	正規	1	1	17	1	3	1	1	25
	常勤臨時								
	パート			9		1			10
合 計	1	1	26	1	4	1	1	35	

【一年の歩み】

定数 102 名に対し定員枠外利用を含めると月平均 114 名でした。障害児受け入れは 3 名で特別支援児は 0 名でした。一時保育利用者は年間 184 名、障害児 0 名（延べ利用人数）でした。

1. 行事・地域交流等

年間保育計画に基づき、内科・歯科健診、リズムあそび、季節の遠足、園庭開放（夏季はプール開放）法人内保育所児との遠足・宿泊体験・クリスマスページェント・お餅つき交流等での交流の充実を深めました。第一回なみさん祭りをを行い保護者・地域の方が集い、地域との積極的な交流を図り開放された保育園作りに努めました。

2. 子育て支援等

毎週火曜日に園庭開放（夏季はプール開放）や赤ちゃんサークルへの職員派遣、離乳食交流、園行事への参加等と呼びかけ、地域の方と一緒に楽しく遊んだりし交流を深めました。地域の方達の育児相談を受入れました。一時保育の実践を行いました。

3. 食育等

季節の野菜を育て、これらの生育過程を子どもたちと一緒に観察しました。また給食サンプルとともに野菜等食材の展示を行い子どもたちに調理する前の食材の姿や、どんな役割があるか興味を持ってもらうようにしました。クッキング保育の一環として、白玉団子作りや、インゲンを育て、お米をとぐなど、乳児を含め全園児対象に調理に興味を持つことを計画的に行いました。

4. 給食

献立表により、完全給食を行いました。その日の献立を展示ケースにて展示し、園で除去食を必要とされる児童に対しては保護者と栄養士との話し合いの場を設け連絡を密にしてそれに基づく指示によって対応しました。またアレルギーを持っている児童に対し、メニューに大きな差がないよう栄養面、見た目にも配慮いたしました。

5. 実習生等の受け入れ

保育学生の実習生受け入れのほか、地域の中高生の職業体験や福祉体験の受け入れを行いました。看護学生 7 名、保育学生 2 名、高校生 7 名、中学生 8 名でした。

6. 研修

各職員が行政・関係機関や法人が主催している、職員研修会、研究会に積極的に参加しました。研修終了後、研修報告の仕方を工夫し園内研修を充実させました。

7. 幼保小交流事業

金沢区「幼・保・小」の連携交流事業に基づく研修会に参加し、「園生活から小学校生活へのスムーズな接続」をテーマに行いました。「地域の子どもたちは地域で育てる」という方向で交流を求めています。

並木・富岡東地区 学校と福祉施設の連絡会では、子どもたちへ認知症の紙芝居を行い地域の

関係施設とも連携をとりました。

地域の保育園とのドッジボール大会や並木第四小学校との交流を持ち、職員の地域交流も深めました。

8. 安全管理

安全管理委員で毎月1回、事故防止チェックリストに基づき園内外の危険箇所・危険物などを未然に気付き、園児の成長発達の妨げにならないよう配慮しました。

マニュアルに基づき児童の発達に合わせた安全指導・避難訓練を定期的の実施し、実施後の再点検を行い、職員間で周知し、次年度につなげました。

さまざまな災害、防犯に対応できるよう避難訓練を実施し、子どもの安全を第一に実施後の見直しを全職員で取り組みました。

9. 防災

3日分の食料、飲料水を備蓄し、毎月1回避難訓練計画に基づき地震・火災等の防災訓練を行いました。不審者侵入時の訓練も年1回行いました。

保育園・地域の自治会・小学校・中学校と連携を取りながら災害を想定した訓練を行い、こどもの安全確保に沿った避難誘導を行いました。

地域防災拠点運営委員会主催の月1回の訓練等に安全管理委員が参加し防災ライセンス取得・生活資機材取扱を学び防災の安全推進に努めています。

10. 苦情解決ほか

利用者からの苦情に対し適切な対応が出来るように窓口を設置し、不適切な養育並びに児童虐待の早期発見に努めていますが、特に問題はありませんでした。

平成27年度 事業報告
施設名 聖 星 学 園

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 指定障害福祉サービス事業所 多機能型

- ・生活介護（定員 40 名）
- ・就労継続支援B型（定員 19 名）

【定員合計 59 名 在籍 59 名（3月末現在）】

開所時間 9：00～16：00

特別事業 ・短期入所（定員 1 名） ・日中一時支援（定員 2 名）

2. 利用者数（生活介護）

	区分	金沢区	磯子区	南区	港南区	保土ヶ谷区	中区	合計(人)	出席率
4月	2							40	733
	3	2		3			1		
	4	11							87%
	5	9		2	2	1			
	6	6	1		2				
5月	2							40	652
	3	2		3			1		
	4	11							86%
	5	9		2	2	1			
	6	6	1		2				
6月	2							40	757
	3	2		3			1		
	4	11							82%
	5	9		2	2	1			
	6	6	1		2				
7月	2							40	667
	3	2		3			1		
	4	11							83%
	5	9		2	2	1			
	6	6	1		2				
8月	2							40	695
	3	2		3			1		
	4	11							83%
	5	9		2	2	1			
	6	6	1		2				
9月	2							40	605
	3	2		3			1		

	4	11							
	5	9		2	2	1			80%
	6	6	1		2				
10月	2							40	749
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			85%
	6	6	1		2				
11月	2							40	622
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			78%
	6	6	1		2				
12月	2							40	694
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			87%
	6	6	1		2				
1月	2							40	662
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			83%
	6	6	1		2				
2月	2							40	710
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			85%
	6	6	1		2				
3月	2							40	788
	3	2		3			1		
	4	11							
	5	9		2	2	1			86%
	6	6	1		2				
小計	2								平均
	3	24		36			12		34人
	4	132							
	5	108	12	24	24	12			84%
	6	72			24				
合計		336	12	60	48	12	12	480	
前年度		336	12	60	48	12	12	480	85%

利用者数（就労継続支援B型）

	金沢区	磯子区	南区	港南区	鶴見区	合計 (人)	出席率(%)
4月	9	5	3	1	1	19	376
							94%
5月	9	5	3	1	1	19	323
							89%
6月	9	5	3	1	1	19	374
							86%
7月	9	5	3	1	1	19	340
							89%
8月	9	5	3	1	1	19	358
							90%
9月	9	5	3	1	1	19	298
							83%
10月	9	5	3	1	1	19	399
							95%
11月	9	5	3	1	1	19	322
							85%
12月	9	5	3	1	1	19	364
							96%
1月	9	5	3	1	1	19	334
							89%
2月	9	5	3	1	1	19	372
							93%
3月	9	5	3	1	1	19	395
							90%
合計	108	60	36	12	12	228	平均
							17人
							平均 90%
前年度	108	60	36	12	12	228	90%

3. 職員構成（3月1日現在）

職 種		施設 長	主任	支援 員	作業指導員	栄養 士	パイ オ	調 理 員	事務兼 看護師	合 計
人 員	正規	1	1	10	2	1			1	16
	常勤臨 時									0
	パート			3	3		2	3		11
合 計		1	1	13	5	1	2	3	1	27

【一年の歩み】

生活介護は定員40名に対し、実績平均34名（出席率84%）、就労継続支援B型は定員19名に対し、平均17名（出席率90%）でした。

今年度は、短期入所 99泊、 日中一時支援 209回の利用がありました。

1. 個別支援サービス

学園年度目標「利用者の良い所を見つける」に則りながら

前年度のモニタリングを活かし、必要に応じて再度アセスメントを行い、利用者の人権をさらに高めるように個々のニーズを把握した上で、支援サービス計画書を作成し、本人及び家族に同意を得た上でサービスを提供しました。

2. 余暇活動支援

日中活動において、特別活動の時間を設け、余暇活動に配慮しました。

土曜開所日を設け、季節に合ったプログラムを提供しました。

5月：夢の島公園 1月：体力測定大会 2月：イチゴ狩り

3. 給食

和食が多く、四季を感じられるメニューで生活習慣病の予防に配慮した給食を提供しました。

また、看護師が中心となり家族の協力を得ながら食育の推進に努めました。

4. 地域交流や家族交流

つつじ祭り・しのめ祭・運動会、オープンルーム等地域の方や家族の方等の行事を企画し、交流を深めました。

5. ボランティアの受け入れ

いつでも、どなたでもをモットーに担当職員を置きボランティアさんの受け入れを行いました。今年度は、延べ245名のボランティアさんが活動に参加されました。その中でパンボランティアの方が3名と縫製作業やウォーキングに参加してくださるボランティアさんが3名、一週間に一日ずつ参加されています。

6. 研修

園内外の研修を通して、各職員の資質向上と専門性を高め、研修報告等により情報の共有化をはかりました。

7. 養護学校実習生の受け入れ

施設を社会資源の一つとして有効に活用するため、近隣養護学校の実習生の受け入れを行いました。今年度は、4名の方の実習を受け入れしました。

8. 教育・福祉・医療関係の実習学生の受け入れ

大学・専門学校等の、教育・福祉・医療関係の学生の実習を積極的に受け入れしました。今年度は30名の方の実習を受け入れしました。

9. 福祉体験学習の受け入れ

総合的学習により希望者が増えている、近隣の学校の福祉体験学習生を受け入れしました。今年度は、延べ36名の方を受け入れしました。

10. その他事業の展開

・豆腐作業・・・能見台駅販売を実施し、平均5千円以上を売り上げました。

その他は販売場所を並木ケアプラザや行事などに絞りました。

・バイオディーゼル事業は金沢区内小学校22校 礪子区16校 港南区6校に廃油を回収に行きました。

金沢区水再生センターで約29、871ℓの軽油を納入できました。

11. 安全管理

まず、グループごとに「ヒヤリハット」「気づき」を一日単位で記入し翌週の月曜日の朝の会で全体で共有しなければいけないことを発表します。そしてそれを一人ひとり職員が共有しました。

12. 防災

防災係を中心に年2回防災訓練計画を立て実施しました。隣接している地区センターとも合同で訓練を行っています。また、法定とは別に8回防災訓練をやっております。

13. 苦情解決ほか

意見箱を設置し、利用者・ご家族からの苦情や要望に対して適切な対応が出来るように利用者・ご家族に苦情解決窓口の説明・啓発しておりますが特に問題はありませんでした。

平成27年度 事業報告

施設名 オルタスそらいろ

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 保育所（定員60名）

開園時間 平日7:00～21:00 土曜日7:00～17:00

特別事業 ・産休明け保育・延長保育・障害児保育・一時保育・子育て支援事業

2. 利用児童数

定員		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計				
		14		46				60				
月	種別	各月年齢別児童数等							小計	合計	障害児数 (内数)	一時保育 (外数)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳					
4月	市内	8	11	12	14	13	13	71	72	(1)	0.3	
	市外					1		1				
5月	市内	8	11	12	14	13	13	71	72	(1)	0.3	
	市外					1		1				
6月	市内	8	11	12	13	13	13	70	71	(1)	1	
	市外					1		1				
7月	市内	8	11	12	13	13	13	70	71	(1)	0.9	
	市外					1		1				
8月	市内	8	10	12	14	13	13	70	71	(1)	1.1	
	市外					1		1				
9月	市内	8	10	12	13	13	13	69	70	(1)	0.65	
	市外					1		1				
10月	市内	8	10	12	13	13	13	69	70	(1)	1.5	
	市外					1		1				
11月	市内	8	11	12	13	14	13	71	71	(1)	1.25	
	市外							0				
12月	市内	8	11	12	13	14	13	71	71	(1)	1.65	
	市外							0				
1月	市内	8	11	12	13	14	13	71	71	(1)	1.6	
	市外							0				
2月	市内	8	11	12	13	14	13	71	71	(1)	1.4	
	市外							0				
3月	市内	8	10	12	13	14	12	69	69	(1)	0.85	
	市外							0				
小計	市内	96	128	144	159	161	155	843	850	/	/	
	市外	0	0	0	0	7	0	7				
合計		96	128	144	159	168	155	850		(12)	12.5	
平均		8	10.7	12	13.3	14	12.9	70.9		(1)	1	
前年度		7.7	10.4	12.2	13.8	13	13.7	70.8		(1)	0.8	

3. 職員構成（3月1日現在）

職 種		施設長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務員	その他	合 計
人 員	正規	1	1	13		3	1	1		20
	常勤臨時									0
	パート			3	1					4
合 計		1	1	16	1	3	1	1	0	24

【一年の歩み】

定数60名に対し定員枠外利用を含めると月平均70.9名、障害児受け入れは1名、一時保育の利用者は1日平均1名でした。

1. 行事・地域交流等

年間保育計画に基づき、運動会、クリスマス発表会、季節の遠足、年長児の宿泊保育、内科・歯科検診などを行いました。毎月の誕生会では保護者の保育参加、試食会を行いました。また同じ建物内の子育て支援拠点ラファールの利用者に園庭開放をいたしました。青葉区ネットワーク事業の専任保育士の協力を得て、区内保育園と室内外の遊びを通して年長児および職員の交流を行いました。

2. 子育て支援等

一時保育の実施のほか、園庭・施設解放は毎日実施できる態勢とし、前記ラファールを通してお知らせしました。

3. 統合保育・異年齢児保育

ノーマライゼーションの考えの下、特に配慮が必要な児童には、一人一人の違いに応じた保育が出来るよう配慮し職員間の連携、家庭や専門機関との連携を密に行い統合保育や異年齢児保育の中で児童が共に健全な発達が得られるように努めています。

4. 食育等

旬の食材、横浜らしさを意識して献立を作成し、子どもたちが「食」に興味を持ち楽しく食事ができるように調理スタッフ、保育士が協力して働きかけました。

また安全・衛生の大事さと料理をつくる楽しさを子どもたちが経験出来るようにクッキング保育を行いました。

5. 食事

毎月のキッチン会議で検討した献立により充実した食事の提供を行いました。人気メニューなどはレシピをきっちんだよりで保護者にお知らせしました。

食物アレルギーの子どもには出来る限り代替食を提供し、誤食がないように複数チェックをする仕組みとしました。

6. 実習生等の受け入れ

中学生の職場体験事業として2年生5名を4日間受け入れました。受入れに当たっては全職員が受入れの意義や方針を理解するようにいたしました。

7. 研修

行政・関係機関が主催している研修会等に積極的に参加しました。ケース会議や保育環境設定を行う機会等を通してOJT（保育の振り返り）を行いました。

8. 幼保小交流事業

幼保小交流事業の会合に参加し、年長児担当保育士もアプローチカリキュラムの研修等に参加いたしました。

9. 安全管理・防災

安全管理委員で毎月1回、事故防止チェックリストに基づき園内外の危険箇所・危険物の排除に努めました。毎月の園単独の訓練以外に建物内全施設で消防出張所の指導の下、避難・消火訓

練を行いました。

不審者侵入時の研修も年1回行いました

10. 苦情解決ほか

意見箱を設置し、利用者からの苦情・要望に対して適切な対応が出来るよう苦情解決のシステムがあることを利用者にお知らせしていますが、特に問題はありませんでした。

平成27年度 事業報告

施設名 グループホームシリウス

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 障害者共同生活援助（定員6名）

運営区分 365日型夜間体制有り

特別事業 体験入居事業

2. 利用者数

		金沢区	南区	小計
4月～3月	男	4	1	5
	女			0
合計		4	1	5
前年度		4	1	5

3. 職員構成（3月1日現在）

職種		管理者	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
人 員	正規			2	2	4
	(兼務)	(1)	(1)			(2)
	パート			2	5	7
合 計		(1)	(1)	4	7	11 (2)

【一年の歩み】

1. バックアップ施設との連携

バックアップ施設である聖星学園と連携をとりながら事業を運営しました。

2. 利用者の健康保持

朝・夕の健康状態のチェックをはじめ、利用者の健康保持に努めました。

必要に応じて、バックアップ施設の看護師が服薬状況の確認や体調不良時の応急対応を行いました。

3. 相談・助言

グループホームでの生活を送る中、利用者の相談に応じ、世話人が助言をおこないました。

4. 記録の整備

個人毎に、健康状態や日常生活に関わる記録を整備し保管しました。

5. 地域との関わり

町内会に加入し、町内会の集まりにはスタッフが参加しています。

6. 苦情解決ほか

苦情に対し適切な対応が出来るように窓口を設置していますが、苦情・要望はありませんでした。

7. 余暇支援

- ・土日にご家庭に帰らない利用者に対して余暇プランを作成し、ガイドヘルパー事業者と調整し積極的に外出する機会を設けました。
- ・土日にご家庭に帰らない利用者に対してご家族と調整し積極的に外出する機会を設けました。一人一人に合った余暇支援をモットーに各利用者が1カ月に一回行ないました。
各利用者に関しては映画鑑賞・ハイキング 全体ではハロウィン・クリスマス会

☆ 詳細 ☆ シリウスガイドボランティア

	田中(良)		田中(良)
4月		10月	
5月	横浜野毛山動物園	11月	三浦諸磯
6月	葛西臨海公園	12月	新宿・巣鴨
7月	横須賀ショッピング	1月	
8月	お台場日本科学未来館	2月	三浦海岸河津桜
9月		3月	上野公園—湯島天神

8. 安全管理

日々、「ヒヤリハット」を出し合い月1回のミーティングで情報共有し改善策を話し合いました。

9. 防災訓練

利用者と支援スタッフ分7人分の3日間の食料等を備蓄し、年2回の防災訓練を東富岡消防署のアドバイスを受けながら行っています。

平成27年度 事業報告

施設名 グループホームサザンクロス

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 障害者共同生活援助（定員6名）

運営区分 365日型夜間体制有り

2. 利用者数

		金沢区	磯子区	小計
4月～3月	男	1	1	2
	女	3	0	3
合計		4	1	5
前年度		5	1	6

3. 職員構成（3月1日現在）

職種		管理者	サービス 管理責任者	世話人	調理員	生活支援員	合計
人 員	正規			1		1	2
	(兼務)	(1)	(1)				(2)
	パート			3	2	4	9
合 計		(1)	(1)	4	2	5	11(2)

【一年の歩み】

1. バックアップ施設との連携

バックアップ施設である聖星学園と連携をとりながら事業を運営しました。

2. 利用者の健康保持

朝・夕の健康状態のチェックをはじめ、利用者の健康保持につとめました。

必要に応じて、バックアップ施設の看護師が服薬状況の確認や体調不良時の応急対応を行いました。

3. 相談・助言

グループホームでの生活を送る中、利用者の相談に応じ、世話人が助言を行いました。

4. 記録の整備

個人毎に、健康状態や日常生活に関わる記録を整備し保管しました。

5. 地域との関わり

町内会に加入し、町内会の集まりにはスタッフが参加しています。

6. 苦情解決ほか

苦情に対し適切な対応が出来るように窓口を設置していますが、苦情・要望はありませんでした。

7. 余暇支援

- ・土日にご家庭に帰らない利用者に対して余暇プランを作成し、ガイドヘルパー事業者と調整し積極的に外出する機会を設けました。
- ・土日にご家庭に帰らない利用者に対してご家族と調整し積極的に外出する機会を設けました。一人一人に合った余暇支援をモットーに各利用者が1カ月に一回行ないました。
各利用者に関しては映画鑑賞・ハイキング 全体ではハロウィン・クリスマス会

☆ 詳細 ☆ シリウスガイドボランティア

	田中(良)		田中(良)
4月		10月	
5月	横浜野毛山動物園	11月	三浦諸磯
6月	葛西臨海公園	12月	新宿・巣鴨
7月	横須賀ショッパーズ	1月	
8月	お台場日本科学未来館	2月	三浦海岸河津桜
9月		3月	上野公園—湯島天神

8. 安全管理

日々、「ヒヤリハット」を出し合い月1回のミーティングで情報共有し改善策を話し合いました。

9. 防災訓練

利用者と支援スタッフ分7人分の3日間の食料等を備蓄し、年2回の防災訓練を東富岡消防署のアドバイスを受けながら行っています。

5. 地域との関わり

町内会に加入し、地域の方にホームの存在を知っていただく機会を作りました。

6. 苦情解決ほか

苦情に対し適切な対応が出来るように窓口を設置していますが、苦情・要望はありませんでした。

7. 余暇支援

ホーム全利用者を対象として余暇支援を計画し2ヶ月に一回行なうことを目標としましたが、4月にお花見に行き、12月にクリスマス会を三ホーム合同で学園の2階ホールで行いました。年2回行なう事が出来ました。

8. 安全管理

「ヒヤリハット」を世話人が中心となって取りまとめ月一回のミーティングで情報を共有し対応策を話し合いました。

9. 防災

利用者と支援スタッフ分8人分の3日間の食料を備蓄し、年2回の防災訓練の中に1階の高齢者グループホーム「ぬくもりの家」と合同で行い災害時の協力体制を確認し実践しました。また、金沢消防署に相談しながら防災訓練を振り返っています。

平成27年度 事業報告

施設名 グループホームケンタウロス

【施設の概要】

1. 事業の概要

種 別 障害者共同生活援助（定員6名）

運営区分 365日型夜間体制有り

特別事業 体験入居事業

2. 利用者数

		金沢区	港南区	磯子区	南区	小計
4月～3月	男			1	1	2
	女	1			1	2
合計		1		1	2	4
前年度		1		1	2	4

3. 職員構成（3月1日現在）

職種		管理者	サービス 管理責任者	世話人	生活 支援員	合計
人 員	正規			2	2	4
	（兼務）	（1）	（1）			（2）
	パート			2	6	8
合 計		（1）	（1）	4	8	12（2）

【一年の歩み】

1. バックアップ施設との連携

バックアップ施設である聖星学園と連携をとりながら事業を運営しました。

2. 利用者の健康保持

朝・夕の健康状態のチェックをはじめ、利用者の健康保持に努めました。

必要に応じて、バックアップ施設の看護師が服薬状況の確認や体調不良時の応急対応を行いました。

3. 相談・助言

グループホームでの生活を送る中、利用者の相談に応じ、世話人が助言をおこないました。

4. 記録の整備

個人毎に、健康状態や日常生活に関わる記録を整備し保管しました。

5. 地域との関わり

町内会に加入し、地域の防災活動に参加して、地域との交流をいたしました。

6. 苦情解決ほか

苦情に対し適切な対応が出来るように窓口を設置していますが、苦情はありませんでした。

7. 余暇支援

- ・土日にご家庭に帰らない利用者に対してご家族と調整し、ガイドヘルパー事業者と調整し積極的に外出する機会を設けました。
- ・ホーム全利用者を対象として余暇支援を計画し2ヶ月に一回行なうことを目標としましたが、4月にお花見に行き、12月にクリスマス会を三ホーム合同で学園の2階ホールで行いました。年2回行う事が出来ました。

8. 安全管理

日々、ヒヤリハットを出し合い月1回のミーティングで情報共有し改善策を話し合いました。

9. 防災

利用者と支援スタッフ分7人分の3日間の食料を備蓄し、年2回の防災訓練を東富岡消防署のアドバイスを受けながら行っています。